

ブラザーの皆様

新型コロナウイルスのパンデミックは、世界中の社会、経済、生活活動に大惨事をもたらし続けています。これは生きていくほとんどの人がかつて経験したことのない規模と性質を持つ世界的な危機です。多くの国々は、数ヶ月前には想像もできなかったような日常生活の自由を制限するロックダウンや事業の制限、またその他の制限を課すことで対応しています。私たちが通常の状態に戻るまでには、残念ながらまだまだ長い道のりが続くと思われま

私たちの生活や周りの世界は不確実な状況に直面していますが、私はフリーメイソンの一員であることをこれまでと同様に幸せに思っています。フリーメイソンとは、つまり建設をする事です。実務的なメイソンが建物や物理的な建造物を建設するのに対し、私たちフリーメイソンは石工との類似性を用いて自分自身および社会を豊かにする社会的、道徳的、精神的な建造物を建設することに焦点を当ててきました。私たちがフリーメイソンとして建設をする、これらの建造物は、今のような時代ほど必要とされていることはありません。

この危機の時代において、私たちフリーメイソンはどのように行動すべきかを考えるとき、私たちはメイソンリーの三大教義である「兄弟愛」「救済」「真実」に目を向ける必要があります。「兄弟愛」とは、人類全体を一つの家族と見なすことを思い出させます。それゆえに私たちは互いに助け合い、支え合い、護り合わないといけません。「救済」は、すべての人々、特に他のブラザーの苦難を和らげることが私たちの本来の義務であることを思い出させてくれます。そして「真実」は、メイソンリーで教えられている最初の教訓が善行と真実であり、誠実かつ公明正大であること、そして偽善と欺瞞を拒絶することによって自分自身を見極めることにつながることを思い出させてくれます。これらの原則が世界で必要とされる時代があるとなれば、今がまさにその時です。

皆さんは、個人、あるいは国家全体がそれらの原則のどちらかの側に偏って行動していることを否応なく目にしたことがあるでしょう。私たちは博愛と自己犠牲の愛と慈悲の物語を見ることもあれば、時を同じくして、買い占めや利益を得るための物語、または国家主義的な憎悪を煽る物語をも読んでいくような感覚を覚えます。もちろん、人生には善と悪が混在しています。このような不確実な時代にあっても、フリーメイソンは、オン・ザ・レベルで会い、プログラムで行動し、スクエアで赴くことによって、自分たちを見極める必要があることは確かです。

私たちのロッジの会合は、「じっと沈黙し」、「閉ざされた中において」、「自分たちを孤立させる」という必要性によって制限されていますが、このような困難な時代にブラザーや友愛活動そして地域社会を支援するためにできることは数多くあります。私が期待する事としては以下の行動等があります。

1. **チャリティー委員会:** 私たちの定款では各ロッジは常任委員会の一つとしてチャリティー委員会を設置することを義務付けています。私は各ロッジのマスターに、チャリティー委員会が前向きに活動し続ける事を勧めます。通常のロッジでの会合と違い、委員会の会合は今の時代ではSkypeや、FaceTime、Facebookメッセンジャー、またLINEなどの技術を使ってバーチャルに開催することができます。これらの技術を利用して、必要としている人々(ブラザーの内外を問わず)に、メイソンとしてのチャリティーを拡大するための機会となるようなことを考えてみてください。会合での発議は、決定後に多くのブラザーからの参加を促すため、各ロッジのブラザーに伝えてください。(健康と安全のため、イベントに参加する人数を制限する必要がある場合はそのように伝えてください)

2. リーチアウト・キャンペーン:各マスターはこの機を利用して、ロッジのメンバー全員に個別に連絡を取り、各ブラザーの様子を確認してください。ほぼすべてのロッジでは今月とおそらく来月の定例会はダーク(休止)となると思いますので、マスターはすべての時間をこの事に使えると思います。リーチアウト・キャンペーンは、ロッジの他のピラー、セクレタリーまたはマスターによって選ばれた他のブラザーと一緒に行うことができますし、またそのようにする必要があります。連絡方法はメールや電話となるかも知れませんが、すべてのケースにおいて直接的かつ個人的にしてください。そうすることで定期的に出席していない、あるいは休眠状態にあるブラザーたちと関わる機会が得られますし、ブラザーたちの安全と幸せを常に把握しておくことができます。支援を必要としているブラザーを見つけた場合は、その情報をグランドロッジまたは支援を提供してくれる可能性のあるロッジの他のブラザーに、十分な配慮とともに伝えてください。
3. 教育:室内で過ごす時間が増えている今こそ、ロッジマスターとエデュケーション委員会がブラザーの間で議論するための教育の話題を提供する絶好の機会です。膨大な量のオンラインおよび出版物としての資料がありますので、それらから議論や教育のための良い題材を見つける事が出来るでしょう。もちろん、読んだものがすべて真実というわけではありませんが、それでも議論や会話の出発点にはなります。繰り返しになりますが、前述したようなオンラインのコミュニケーションツールは、ロッジが勉強会や教育のセッションを開催するための素晴らしい方法を提供してくれます。私は各ロッジのエデュケーション委員会に議論の対象となるトピックを選び、オンラインで勉強会を設定して開催することを勧めたいと思います。
4. コミュニケーション:最後に、そして最も重要なことですが、お互いにコミュニケーションを取り続けてください。上記の活動を行う際には、グランドロッジだけでなく所属するロッジにも連絡を取ってください。互いに孤立し、病気や死に関する暗く、憂鬱なニュースが絶えない時代においては、フリーメイソンリーを通じて行っている前向きなことを報告し、それを共有することで互いに励まし合い、支え合うことが重要です。積極的なコミュニケーションはブラザーの絆を強め、より良いブラザーになるために役立つことでしょう。

もちろん、ここで提案したこと以外にも、個人として、また委員会を通じて、そしてロッジとして出来ることは数多くあります。どのような良いアイデアがあるか、また成功したことを教えてください。グランドロッジの役員は、どのような成功を収めているのか、またどこで苦労しているのかを知りたいと思っています。

グランドロッジのピラーである、シニア・グランド・レクチャーとシニア・グランド・オレーターには、今後数週間の間それぞれ短いメッセージを提供してもらい、この時代におけるフリーメイソンリーの重要性についての考えをハイライトし、ロッジから受け取ったフィードバックの一部を共有してもらいます。皆さんへのメールが多くなり過ぎないように、週に一回程度のペースでお届けする予定です。様々な意見が有益であり、皆さんの励みになることを願っています。

まとめとして、現代社会におけるフリーメイソンの意義は、このような時代への対応によって決まります。皆さんには、安全を守り、自分自身と愛する人を守って欲しいと思います。また、この機会に友愛活動への理解を深めていただきたいと願っています。フリーメイソンの恩恵と共に、自分自身および他の方々がこの嵐と一緒に乗り越えることができることを願っています。

心から友愛をこめて。

Jeremy C.R. Entwisle
グランドマスター

フリー アンド アクセプトッド メイソン 日本グランドロッジ